

平成 22 年 4 月 30 日現在

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2007 ～ 2010

課題番号：19730528

研究課題名（和文）在日ブラジル人青少年の進路・教育選択に関する教育人類学的研究

研究課題名（英文）Anthropological Study on the Career Decisions of Brazilian Youths in Japan

研究代表者

山ノ内 裕子 (YAMANOUCHI YUKO)

関西大学・文学部・准教授

研究者番号：00388414

研究代表者の専門分野：教育人類学

科研費の分科・細目：教育社会学

キーワード：教育学、文化人類学、社会学

1. 研究計画の概要

本研究の課題は、在日ブラジル人のフォーマル教育、インフォーマル教育およびノンフォーマル教育の民族誌的調査をとおして、在日ブラジル人青少年の進路・教育選択過程を、教育人類学的観点から明らかにすることである。

2. 研究の進捗状況

上記の課題を明らかにすべく、2007-2008年度は、教育学のみならず、社会学や文化人類学など、関連領域も含めて幅広い範囲から文献の収集を行い、理論的枠組みを構築することに務めた。一方、在日ブラジル人の多く居住する地域において、フィールド調査を行った。ブラジル人集住地域においては、当事者である在日ブラジル人の子どもたちや保護者たちに聞き取り調査を行ったほか、公立学校やブラジル人学校において資料収集ならびに聞き取り調査を行った。

文献研究およびフィールド調査の結果、在日ブラジル人青少年の進路・教育選択過程を把握するためには、(1) 彼らを定住者もしくは一時的在留としてではなく、二つの国に

足場を持って生活する人々として、動的的に捉えることが必要であること (2) 在日ブラジル人青少年のみならず、彼らの両親や、祖父母や祖父母の世代にまで対象を広げて調査を行う必要があること (3) 在日ブラジル人コミュニティにおいて、2008年秋に起こった世界金融危機のインパクトは看過できないことの三点が明らかになった。よって2009年度は、「移動と教育戦略」というサブテーマを掲げて上記の課題を遂行することとし、在日ブラジル人集住地域においてフィールド調査を行う一方で、ブラジルにおいてもフィールド調査を行った。

ブラジルでは、世界金融危機の影響を受けて帰国した人々の状況を把握すべく、日本での就労および帰国後の生活を支援する公的・私的機関での聞き取り調査を行ったほか、日本から帰国した日系人たちや彼らを取りまく人々（教育関係者も含む）が、移動の経験をどのように解釈しているのか、聞き取り調査を行った。

3. 現在までの達成度

本研究は「②おおむね順調に進んでいる」

といえよう。本研究の開始後、世界金融危機の影響によって、調査協力者と連絡が取れず、フィールド調査が中断してしまうというハプニングがあった。しかし、結果的には、危機前から危機後にかけて、在日ブラジル人たちの置かれている状況の変化をリアルタイムに把握することが可能となったほか、彼らがそうした危機をどのような教育戦略によって乗り越えようとしているのかも、リアルタイムで把握することが可能となった。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度である 2010 年度は、これまでの調査のまとめを行いつつ、在日ブラジル人家庭で集中的にインタビュー調査を実施する予定である。彼らが、いかなる教育戦略を持って、子どもの教育を行ってきたのか、そしてそうした経験が彼らのエスニシティ形成にどのような影響を与えているのかを明らかにする。

なお 2009 年度までは、主として教育のフォーマルな側面に焦点を当てて日系ブラジル人の教育を捉えてきたが、2010 年は、フォーマルな側面のみならず、教育のノンフォーマル、インフォーマルな側面に着目する。移動が常態化している日系ブラジル人にとって、子どもの教育はどのように行われるのか、そしてその結果、どのような新しい文化が生成されているのか、教育人類学の立場から明らかにする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 1 件)

- ① 山ノ内裕子「逆境を生き抜く—日系ブラジル人の移動と教育戦略」、『年報 教育の境界』、第 7 号、2010 年、15-25 頁、査読あり

[学会発表] (計 4 件)

- ① 山ノ内裕子「日系ブラジル人の移動と教育戦略」、第 46 回ラテンアメリカ政経学会、2009 年 11 月 28 日、於：立命館大学びわこくさつキャンパス
- ② ハヤシザキカズヒコ、山ノ内裕子、山本晃輔、Jaqueline Kimura Nakaya「往還することと教育——日本とブラジルにおける生活史分析から——」第 61 回日本教育社会学会、2009 年 9 月 12 日、於：早稲田大学
- ③ 山ノ内裕子「デカセギによる教育機能の変容—ブラジル日系社会と在日ブラジル人社会の調査を通して—」、日本文化人類学会第 43 回研究大会、2009 年 5 月 31 日、於：大阪国際交流センター
- ④ 山ノ内裕子「ブラジルの日本語教育支援に関する一考察——『外国語としての日本語教育』と『日本人性』——」、日本比較教育学会第 43 回大会、2007 年 6 月 30 日、於：筑波大学

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]